新型コロナで変わる職場の流儀

産業カウンセラーの日　特別企画

コロナ禍の影響で、人の流れや消費の形態、仕事のやり方さえ変わってしまいました。

産業医として企業現場のみならず、佐賀産業保健総合支援センターの産業保健相談員としても幅広い活躍をされている彌富美奈子先生から、感染症下での労務管理の課題、働き方の変化、そのなかでのコミュニケーションの取り方の重要性、ガイドラインにのっとった感染予防対策など、幅広いお話しをいただきます。

質疑応答の時間も用意しておりますので、ふるってご参加ください。

【日　時】　令和２年 11 月 21 日（土曜日）
13：30～16：30　（受付 13：00～）

【内　容】

13：35 ～ 14：15　「産業カウンセラー協会と産業カウンセリング」
（一社）日本産業カウンセラー協会九州支部 事務局長
松本 浩二 氏

14：25 ～ 16：05　特別講演「新型コロナで変わる仕事の流儀」
講師　彌富 美奈子 先生

16：05 ～ 16：30　質疑・応答

【対 象 者】 一般・会員（会員学習ポイント対象講座：３ポイント付与）
【場　　所】 アバンセ　４階　第２研修室
【受 講 料】 無料
【募集定員】 45 名（定員 90 名の研修室に 45 名で開催します）

【特別講演 講師】　**彌富　美奈子**(いやどみ　みなこ) 先生
佐賀医科大学大学院卒、医学博士、シカゴ大学留学・佐賀医科大学医学部助手を経て
現）株式会社ＳＵＭＣＯ統括産業医・佐賀産業保健総合支援センター産業保健相談員
佐賀大学医学部非常勤講師・日本産業衛生学会指導医

【申込方法】　１１月８日（日）まで申し込みを受付けます。

■一般の方(会員マイページからの申込みが難しい会員を含む)
産業カウンセラー協会九州支部のホームページの「TOPICS」から「産業カウンセラーの日」を選び、佐賀地域開催欄よりお申込みください。

■会員の方
会員マイページよりお申込みください。お申し込み後、自動返信メールが届かない場合は、九州支部にお問い合わせください。

■新型コロナウィルス感染予防対策について
・マスクの着用をお願いします。入退出の際の、手指消毒にご協力ください。
・当日体調不良の方、37 度以上の熱のある方の参加はご遠慮ください。
・予期せぬ感染拡大が発生した場合、Zoom(オンライン・ミーティング)による開催に変更する可能性があります。
※開催形式に変更があった場合のみ、11 月 9 日(月)にお申込み時にいただいたメールアドレスへご連絡いたします。

一般社団法人 日本産業カウンセラー協会　(TEL:092-434-4433)
【共催】独立行政法人労働者健康安全機構　佐賀産業保健総合支援センター

○ 佐賀産業保健総合支援センターとは

労働者健康安全機構が、産業保健活動をより強力に支援しようという国の指針に基づいて、1993 年から都道府県ごとに逐次設置を進め運営している組織です。佐賀県では、2002 年に開設した佐賀産業保健推進センター、2011 年に佐賀産業保健推進連絡事務所へ移行し 2014 年 4 月より佐賀県の産業保健活動の充実化を図るため佐賀産業保健総合支援センターを立ち上げました。

事業の目的である事業者が使用する労働者の健康管理、健康教育そのほか健康に関する業務について、事業者及び産業医等の産業保健関係者が自主的な産業保健活動を支援致します。小規模事業場の産業保健活動を支援するために、佐賀県内の地域産業保健センターと密接な連携を行い労働衛生管理に対する総合的支援を行います。

（ホームページより抜粋）

○ 産業カウンセラーの日とは

日本産業カウンセラー協会は、１９６０年１１月２３日に創立されました。１９７０年には社団法人として認可され、６０年の歴史と実績を持ち、産業カウンセラーの育成をはじめ、企業・団体向けの研修や相談、個人向けの相談活動など、その領域は多岐にわたり近年では、労働者のキャリア形成の支援や、キャリアコンサルタントの育成にも努めています。協会の創立記念日であり、労働者が「働くこと」と関連が強い「勤労感謝の日」であることから一般社団法人・日本記念日協会より認定・登録されています。

○ あるカウンセリングの効用

仕事半分。と聞くとみなさんは、何だろうと思われるかもしれません。職場の実質的な仕事の半分は人間関係に関するものであると聞くとみなさんはどうお考えでしょうか？そこまではないな、と思われるかもしれませんし、お客様との関係まで入れると、7 割ぐらいといわれる方もいらっしゃるかもしれません。仕事はできるのに、人間関係が苦手で能力を発揮・あるいは評価されない方もいらっしゃるかもしれません。人の不幸は、他人と比べることからはじまるとも言われます。職場のひとりの存在が、その職場を明るくもすれば、暗くすることだってあります。いつだって元気満点の人もいれば、いつも不平不満の人もいます。カウンセリングというと、精神的に参った人が、不適応を起こしてしまい。精神的な指導や、アドバイスを受けるイメージが強いかもしれません。しかし、カウンセリングでは、守秘義務の守られた安全な空間で思いのたけを話（離）し、その下に隠れていた自分の感情に気づき、そこから新たな一歩を踏み出すクライエントを見守ることも、多いものです。